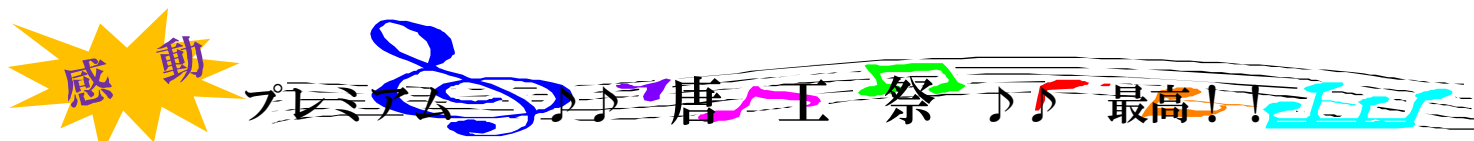


まつぼっくり

図書館 だより

第7号 OCTOBER

平成26年10月 28日発行
佐賀県立唐津工業高等学校図書館



文化祭は、クラスのキャラクターがよく表現されギャラリーもノリノリでした。生徒作品展示会場では、みんなの力作がずらり！！どれも素晴らしい作品にうっとり。図書委員会企画の「消しゴムはんこづくり」は、初体験の人にも、体験したことのある人にも大反響で笑顔になってもらいました。既成概念にとらわれず、遊び感覚で彫る楽しさを発見した瞬間だったことと思います。

体育大会の競技種目「科対抗リレー」は、うるうるものでした。サプライズではなく、ハプニングがおきた、そのとき・・・機転を利かした行動が、観客の誰もが涙を誘いました。♥ありがとう♥ フィナーレの「応援コンクール」でも、452人の心の絆で最強チーム力のエネルギーが一つになった体育大会。やっているあなたたちが一番楽しんでやっている姿が素晴らしい！

11月5日(水) 芸術鑑賞会 『学校寄席』

寄席とは…落語などの演芸を見せる場所。 いろいろな演芸を「寄せ集めて」見せる席、というのが語源です。昔は「よせせき」といいましたが、現在では「寄席」と書いて、「よせ」と読みます。

★★★★★ 寄席で観られるのは、落語だけじゃない！！ ★★★★★

講談、漫才、漫談、音曲、手品、曲芸など、バラエティに富んだ番組（プログラム）になっているのです。

前座の落語から始まり、漫才や手品などの**色物**と呼ばれる演芸と、**二ツ目**の落語がテンポよく進んでいき、最後に**真打ち**が登場します。

落語は…近世期の日本において成立し、現在まで伝承されている伝統的な話芸の一種です。 「落し話（おとしばなし）」、略して「はなし」ともいいます。都市に人口が集積することによって芸能として成立しました。成立当時は、さまざまな人が演じましたが、現在は通常、それを職業とする人が演じています。衣装や道具、音曲に頼ることは比較的少なく、身振りと言りのみで物語を進めてゆく独特の演芸であり、高度な技芸を要する伝統芸能でもあるのです。

★★★★★ ちょっと気になる言葉、**「仲入り」** ★★★★★

仲入りとは…前半と後半を繋ぐ真ん中の休み、プログラムの“中（間）に入っている”休憩時間です。「仲入り」って「休憩時間」よりもずっと言葉の響きがよく、客の入りを願う気持ちが込められていそう。

仲入り、中入り何が違うの??

* **仲入り**用語使用…寄席・落語・能 * **中入り**…大相撲 * **休憩**…歌舞伎（古典芸能なのに?）

★★★★★ 体験コーナー < 落語家（仕草）体験！ > ★★★★★

思い切ってチャレンジし、芸人にいじられ「通」への道をめざすもよし、自由に落語の世界を楽しめるといいですね。



寄 贈

公益財団法人日本教育公務員弘済会佐賀支部さまより

*環境とリサイクル（全12巻）

*オー・ヘンリーショートストーリーセレクション（全8巻）

*やせっぽちの死刑執行人（上・下） ダレン・シャン【著】

本校に22冊の本を頂戴致しました。感謝の気持ちでいっぱいです。

県費では、1人当たり870円の少ない予算額なので、なかなかセットものが購入出来ず四苦八苦しています。生徒たちの学習&読書に役立てたいと思っております。本校にまた一つの宝物が増えました。大切に読ませて戴きます。

深く感謝し心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。（*^o^*）

